

## 指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:平成27年度)

施設 の 名 称	宮城県介護研修センター
指 定 管 理 者 の 名 称	社会福祉法人宮城県社会福祉協議会
施 設 所 管 部 課 ( 室 )	宮城県保健福祉部長寿社会政策課

## 1. 当該施設の管理形態の推移【施設所管課記入】

期 間	管理形態	指定管理者(管理受託者)の名称	摘 要
平成21年4月 ~ 平成24年3月	指定管理者	社会福祉法人宮城県社会福祉協議会	
平成24年4月 ~ 平成27年3月	指定管理者	社会福祉法人宮城県社会福祉協議会	
平成27年4月 ~ 平成32年3月	指定管理者	社会福祉法人宮城県社会福祉協議会	

(注)管理形態欄には、直営・管理委託・指定管理者の別を記入してください。

## 2. 現指定管理者の概要【施設所管課記入】

指 定 管 理 者 の 名 称	名 称	社会福祉法人宮城県社会福祉協議会
	所在地	仙台市青葉区上杉一丁目2番3号
指 定 期 間	平成27年4月1日 ~ 平成32年3月31日 (5か年)	
募 集 方 法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募	

## 3. 施設の概要【施設所管課記入】

施 設 の 名 称	宮城県介護研修センター	
所 在 地	大崎市鹿島台平渡字上屋敷19-7	
設 置 年 月	平成6年4月	
根 拠 条 例 等	介護研修センター条例(平成17年宮城県条例第114号)	
設 置 目 的	介護に関する研修, 相談等を行い, その知識及び技術の普及に資すること。	
施 設 の 内 容	敷 地 面 積	1,485.60㎡
	構 造	SRC(鉄骨鉄筋コンクリート構造)
	内 容	相談室, 図書資料室, 研修室, 会議室, 福祉用具展示室, 宿泊室
開 館 ( 所 ) 日	日曜及び土曜日, 国民の祝日に関する法律に規定する休日, 12月29日から翌年の1月3日までの日を除く日	
開 館 ( 所 ) 時 間	午前9時 ~ 午後5時	
指 定 管 理 者 が 行 う 業 務 の 範 囲	1 施設全体の管理運営業務 2 施設の運営業務 3 施設全体の維持管理業務 4 使用料の徴収業務 5 その他当該施設の管理運営に関して, 知事が必要と認める業務	
利 用 料 金 制	採 用 の 有 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	利用料金の名称	

4. 施設利用実績【施設所管課記入(太枠内は指定管理者記入)】

(1) 開館(所)日数及び利用者数

項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (平成27年度) (A)	前 年 度 (平成26年度) (B)	評価対象年度 (平成27年度) (C)		
開館(所)日数	243 日	249 日	248 日	102.1%	99.6%
延べ利用者数	3,630 人	3,590 人	5,026 人	138.5%	140.0%

(注)対象施設が複数ある場合は、施設ごとに記入してください。

(2) 延べ利用者数の内訳

項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (平成27年度) (A)	前 年 度 (平成26年度) (B)	評価対象年度 (平成27年度) (C)		
介護講座等受講者	2,790 人	2,721 人	3,352 人	120.1%	123.2%
展示室見学者	300 人	339 人	410 人	136.7%	120.9%
宿泊者	340 人	340 人	419 人	123.2%	123.2%
福祉用具相談支援	200 人	190 人	260 人	130.0%	136.8%
その他(会場貸出等)	0 人	0 人	585 人	#DIV/0!	#DIV/0!
合 計	3,630 人	3,590 人	5,026 人	138.5%	140.0%

5. 管理運営収支実績【施設所管課記入(太枠内は指定管理者記入)】

(1) 収入

(単位:千円, %)

項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (平成27年度) (A)	前 年 度 (平成26年度) (B)	評価対象年度 (平成27年度) (C)		
県指定管理料	33,200	33,259	33,200	100.0%	99.8%
利用料金収入	0	0	0	#DIV/0!	#DIV/0!
その他	0	0	9	#DIV/0!	#DIV/0!
収入計 (a)	33,200	33,259	33,209	100.0%	99.8%

(2) 支出

人件費	22,366	26,490	26,178	117.0%	98.8%
施設管理費	5,882	5,349	6,399	108.8%	119.6%
事業運営費	3,676	2,886	3,310	90.0%	114.7%
その他	1,276	1,290	1,276	100.0%	98.9%
支出計 (b)	33,200	36,015	37,163	111.9%	103.2%

(3) 収支

収 支 (c)=(a)-(b)	0	-2,756	-3,954	#DIV/0!	143.5%
前期繰越収支差額	-809	1,947	-809	100.0%	-41.6%
次期繰越収支差額	-809	-809	-4,763	588.8%	588.8%

※ 自主事業を実施している場合は、上記に準じて、自主事業の収支実績を別掲すること。

自主事業分

(1) 収入 (単位:千円, %)

項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (平成27年度) (A)	前 年 度 (平成26年度) (B)	評価対象年度 (平成27年度) (C)		
県指定管理料	0	0	0	#DIV/0!	#DIV/0!
利用料収入	0	0	0	#DIV/0!	#DIV/0!
その他(音楽,リフト,KOMI)	1,931	1,931	1,931	100.0%	100.0%
収入計 (a)	1,931	1,931	1,931	100.0%	100.0%

(2) 支出

人件費	1,767	919	1,767	100.0%	192.3%
施設管理費	164	962	164	100.0%	17.0%
事業運営費	0	50	0	#DIV/0!	0.0%
その他	0	0	0	#DIV/0!	#DIV/0!
支出計 (b)	1,931	1,931	1,931	100.0%	100.0%

(3) 収支

収 支 (c)=(a)-(b)	0	0	0	#DIV/0!	#DIV/0!
前期繰越収支差額	0	0	0	#DIV/0!	#DIV/0!
次期繰越収支差額	0	0	0	#DIV/0!	#DIV/0!

・枠内の記入要領を参考に、施設の特性に応じ、必要事項を記入してください。

6. 評価対象年度(平成27年度)の管理運営評価【指定管理者・施設所管課記入】

項目	事業実績 【指定管理者記入】		指定管理者の自己評価 【指定管理者記入】		県の評価 【施設所管課記入】		
				評価		評価	
①管理運営体制	宮城県社会福祉協議会の経営理念、運営目標に基づき、運営の基本方針及び事業計画、各種規程等を策定し、適正な施設運営に努めた。 また、管理運営するための標準人員定数配置に基づき運営を行なったが、施設の効用を最大限に発揮できるよう、定数区分の業務従事内容にだけ固定することなく、それぞれの業務内容をカバーしながら効率的運営に努めた。 職員研修については、福祉用具相談に関わるスキルアップ、介護についての情報収集を目的として外部研修に派遣した。(33回/延べ37人)		業務水準を維持しつつ、計画どおり実施することができた。 管理業務のスムーズな進捗のため、情報の共有には特に注意を払い、遅延なく進めるよう努めた。		A	少ない人員体制であるが、職員がカバーし合いながら、効率的な管理運営を実施したと認められる。	A
人員体制	正規	4人	非正規	1人			
②施設・設備の維持管理業務の実施	施設・設備の維持管理業務については、指定管理に関する管理運営業務仕様書に基づき、定期的な保守・点検・整備業務に努めた。 また、施設の老朽化によるトイレ設備の不具合、音響設備の不調、研修机の一部破損等について、各種研修に支障が出ないよう、修繕を行った。		施設・設備の維持管理業務については、継続的、安定的に機能の保全が図れるよう、専門知識を有する業者への委託を行ない、適切に実施した。 講座・研修に支障が出ると判断する箇所を優先的に修繕し、よりよい研修環境の整備に努めた。		A	必要に応じ、専門の業者へ委託して修繕等を行い、施設・設備の維持管理業務を適切に実施したと認められる。 また、築20年が経過し、設備面での老朽化が見られるため、特に利用者からの要望の強い箇所について、予算の範囲内で工夫して修繕対応を実施したことが認められる。	A
③運営業務(ソフト事業等)の実施	上記「4.施設利用実績」とおり。 1 委託研修の実施 ・認知症介護実践者研修 ・認知症介護実践リーダー研修 ・認知症対応型サービス事業管理者研修 ・小規模多機能型サービス等計画作成担当者研修 ・認知症対応型サービス事業開設者研修 2 介護講座		計画どおりに実施することができた。 この利用実績以外に、スポット講座10回延べ314人、講師派遣13回796人、地域公開講座2回137人、福祉用具・住宅改修適正活用研修2回40人、共催研修6回75人、専門学校実習生受入1回2人、を行った。		A	指定管理業務に加え、県が委託した各種研修も適切かつ効果的に実施したと認められる。	A
④自主事業の実施	平成27年度重度障害者コミュニケーション機器導入支援業務(県障害福祉課) 来所・電話・メールによる相談及び操作スイッチの選定・評価等訪問支援で102件の実績であった。(相談実人員21人)		県リハビリ支援センターの外部専門スタッフとして支援している。対象件数は限られているものの、当事者からのニーズは切実であり、高い専門性が求められる事業として、重要な役割を果たした。		A	指定管理業務に加え、県が委託した各種研修も適切かつ効果的に実施したと認められる。	A
⑤利用者サービスの向上	・受講案内等の情報提供を今後施設ホームページで行うこととしたので、その取扱の改正点を県内1,028か所に郵送で周知した。 ・ホームページを活用しての介護講座及び研修の受講案内、またブログによる利用状況のお知らせ等の情報提供を行った。		サービスの質の維持・向上を図るため、介護や医療・福祉における動向を注視し、講師の人選やテーマについて、常に情報を収集しながら実施した。また運営委員会に諮り、講座内容等についてもアドバイスを受け利用者サービスの向上に努めた。更に、ホームページをリニューアルし、介護講座等開催についての情報の取得しやすさに配慮した。		A	利用者向けの情報提供のみならず、講師の人選や講座の内容が十分に検討されており、利用者に対するサービス向上が図られたと認められる。	A
⑥利用者の苦情、要望等の把握とその反映	「なんでも相談」は1件(認知症介護実践者研修4期申込み者の抽選の結果選外になったことへの苦情)あった。「なんでも相談室(相談・苦情解決)」規程に基づき、適正に対応した(誠心誠意説明したが理解を得られず、国や県の事業に対する考えを聞きたいとの意向があったため、県主管課の協力ももらい、28年度は年4回実施のところ5回に増やすことを説明していただき理解を得たとの報告を受けた)。 また、受講者の意見を反映させるため、講座毎にアンケートを実施した。研修・講座内容の他、施設利用環境に関する要望もあり、対応可能な点について改善した。		研修・講座自体の内容や企画については受講者の関心は高く、予定数を超える受講申し込みがあった。次年度の計画にあたって、より専門性の高い良質な研修・講座を意識して企画を行った。また、より良い受講環境を整えるためにアンケートを参考に、施設の修繕を行った。		A	全ての講座で受講者アンケート調査が実施されている。苦情や要望はあったが適切に対応し、利用者の満足度は高いものと判断される。	A
⑦安全対策	・利用者の安全を確保するため、法令に基づく防災訓練を実施した。 ・日中、職員による巡視及び業務委託警備による夜間定時巡回を実施した。 ・また、東日本大震災の教訓を活かし大規模災害を想定した緊急時行動計画の改定・運用及び事業継続計画の運用・見直しを行った。		宮城県社会福祉協議会危機管理計画に基づく対応のほか、身近な事故、職員による交通事故をも含め、周知徹底に努めた。 また、9.11関東・東北豪雨により認知症実践研修受講者及び指導者の安全確保のため、研修を延期するとともに、その後の対応として宮城県の主管課及び指導者との連携により無事実施できた。		A	無事故、無過失であり、「緊急時行動計画」等、「介護研修センター消防計画」により訓練を実施するなど、適切な対策がなされていると認められる。	A
⑧県民の平等利用	講座・研修毎に申込期間を設定し、今年度初めて介護講座は先着順で、委託研修は多い場合は抽選で受講決定する旨公表し、受付けている。 特に介護講座は人気が高く、受講希望が多数あり、申込時点で定員をオーバーすることもあるが、会場設営の工夫をすることでできるだけ断ることなく受け入れた。 県南地域からの受講者に配慮して出前講座(新任職員講座)を2回実施し、好評であった。		センター事業の公益性に鑑み、受講者の申込から決定に至る手続きについては、公明・公平に対応している。		A	受講申込の受付の工夫や、会場設営の工夫がなされているほか、センターの立地上仙南地域から受講しづらいという意見を踏まえ仙台市以南で出前講座を開催するなど、県民に対する平等な利用に配慮していると認められる。	A

項目	事業実績 【指定管理者記入】	指定管理者の自己評価 【指定管理者記入】		県の評価 【施設所管課記入】	
			評価		評価
⑨個人情報の保護	研修申込により知り得た個人情報については、研修目的以外には利用しないことを館内に掲示、及び申込書にも明示し、適切に管理した。	宮城県社会福祉協議会個人情報・特定個人情報保護規程に基づき、個人情報保護対策は適切に行なっている。	A	宮城県社会福祉協議会の個人情報・特定個人情報保護規定により、個人情報は適正に取り扱われていると認められる。	A
⑩利用実績	上記「4.施設利用実績」のとおり。	ほぼ計画どおりに実施することができた。専門・テーマ別講座については、前年度からの受講希望者多数に配慮し、実施回数や申込みのあった受講希望者の受講数を増やしたことにより、多くの方が受講できた。	A	受講希望者多数の講座について受講数を増やすなどの対応により多くの方が受講できるよう工夫して実施していると認められる。	A
⑪収支実績	上記「5.管理運営収支実績」のとおり。	限られた人員・予算でセンター事業を運営していくことを基本とし、健全経営に努めた。 法人としての人材育成の目的で作業療法士1人を法人経緯で増員配置したため、全体としてはマイナスとなっている。 しかし、マイナスになった金額については法人の財源で対応しており、指定管理料に影響を与えていない。 また、修繕費が150万円以上かかっているが、設備の老朽化による小破修理が多く、研修に支障のあるものを優先的に修理した。	A	経費節減に努めたものと認められるが、人件費と施設管理費が予算を超過し、翌年度への繰越もマイナスになっていることから、適正な人員・予算管理を行われたい。	B
⑫その他の取組	・県社会福祉協議会管理の一施設として、市町村社会福祉協議会及び介護事業所との連携を推進した。 ・環境配慮の推進のため、みやぎ行動宣言を行ない、冷暖房の適性管理、電気水道等の効率利用、コピー紙の節約に取り組んだ。 ・使用料(宿泊利用料等)の徴収実績として、延べ365人分/139,950円(研修室等使用料1件/7,200円含む) ・減免申請により無料貸出しの実績としては、5件/515人であった。 ・法人内研修「福祉QCサークル活動」に参加、奨励賞受賞	病院や大学の専門学科、各福祉事務所等と連携しながら、地域公開講座を開催した。 不要部分の消灯及び冷暖房の適正な温度設定には特に注意を払った。 また「研修センターを知ってもらおう！(PR作戦)」と題して、福祉QCサークル活動に取り組み、様々な調査やPR活動を実施し、センター利用を更に充実させるよう努めた。	A	関係機関との連携によって公開講座が開催されたほか、事務用経費の節減が図られており、特に高く評価できる。	A
	総合評価	業務水準を低下させることなく、滞りなく業務を遂行した。	A	概ね平成27年度の計画どおり効果的に各種事業が実施され、また、施設の管理運営も適切に実施されており、評価できる。	A

【指定管理者が行う自己評価の基準(目安)】

評価	評価の考え方
S	年度事業計画書等の内容を上回る実績であり、優れた管理運営を行った。
A	年度事業計画書等の内容と同程度の実績であり、適正な管理運営を行った。
B	年度事業計画書等の内容を下回る実績であり、さらなる工夫・改善が必要である。
C	年度事業計画書等に基づく管理運営が適切に行われなかった。大いに改善努力が必要である。

【県が行う評価の基準(目安)】

評価	評価の考え方
S	年度事業計画書等の内容を上回る実績であり、優れた管理運営が行われた。
A	年度事業計画書等の内容と同程度の実績であり、適正な管理運営が行われた。
B	年度事業計画書等の内容を下回る実績であり、さらなる工夫・改善が必要である。
C	年度事業計画書等に基づく管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善努力が必要である。

7. 施設管理運営の課題等【指定管理者・施設所管課記入】

項目	指定管理者 【指定管理者記入】	県 【施設所管課記入】
管理運営の課題等	介護従事者の専門職としての資質向上が社会的に求められている中で、研修を通じてそのスキルを習得する場として県内では当センターが拠点となっている。引き続き、専門性の高い良質な研修の企画・実施に努めていく。 また、福祉用具の相談支援はニーズが多くあり、特に用具の適合調整や生活環境支援についての依頼が高く、セーフティネットの役割を果たしている。今後も、公共性、広域性、中立性の方針により、他の機関では対応が行き届かない領域において、一過性ではない専門的支援を展開していくことで、当センターの存在意義を強調する必要がある。スタッフの育成にも努めていきたい。 設置から20年以上経過している中で、建物・設備の老朽化が目立ち、研修に支障の出ないよう環境整備に努めているが、根本的な解決にならない部分も多くあり、県として積極的な検討を望む。	現体制で利用者の満足度が高まるよう、引き続き適正な運営を求め。 また、公共性、広域性、中立性の方針により、他の機関では対応が行き届かない領域において、一過性ではない専門的支援の展開及び存在意義の強調を求め。